

指定管理者更新に係る検証シート

1 施設及び指定管理者の概要

施設名	南予レクリエーション都市公園	施設所管課	土木部道路都市局都市整備課
設置年月日	昭和51年4月1日	耐用年数	50年
現指定管理者名	南レク株式会社	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成18年4月～平成21年3月(3年間)、第2期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第3期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

2 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

	平成17年度 (制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	429,736 人	369,109 人	339,398 人	198,920 人	215,424 人	300,973 人 (203,626 人)
対制度導入前年度比			79.0 %	46.3 %	50.1 %	70.0 %
対現指定期間前年度比			92.0 %	53.9 %	58.4 %	81.5 %

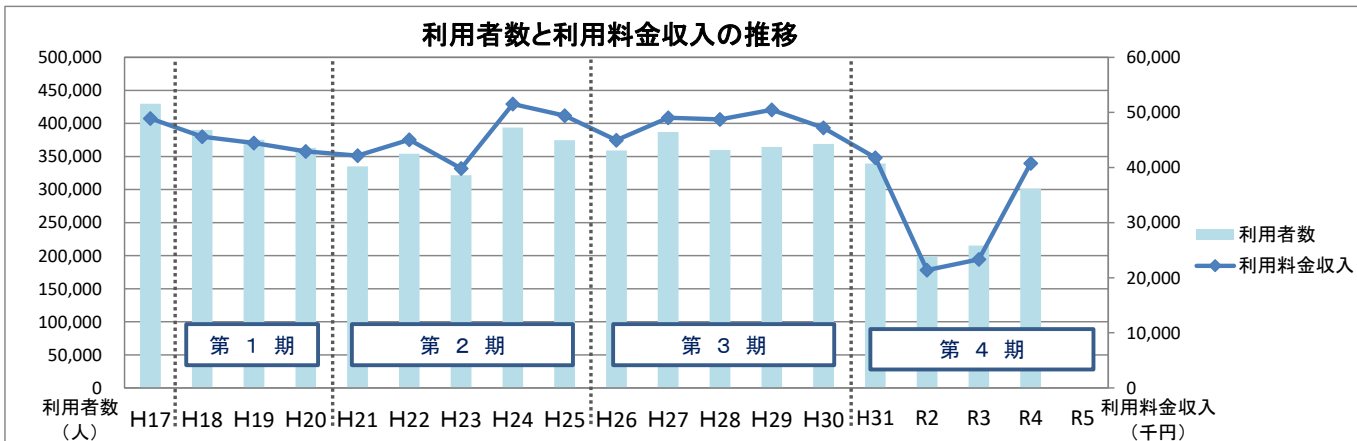
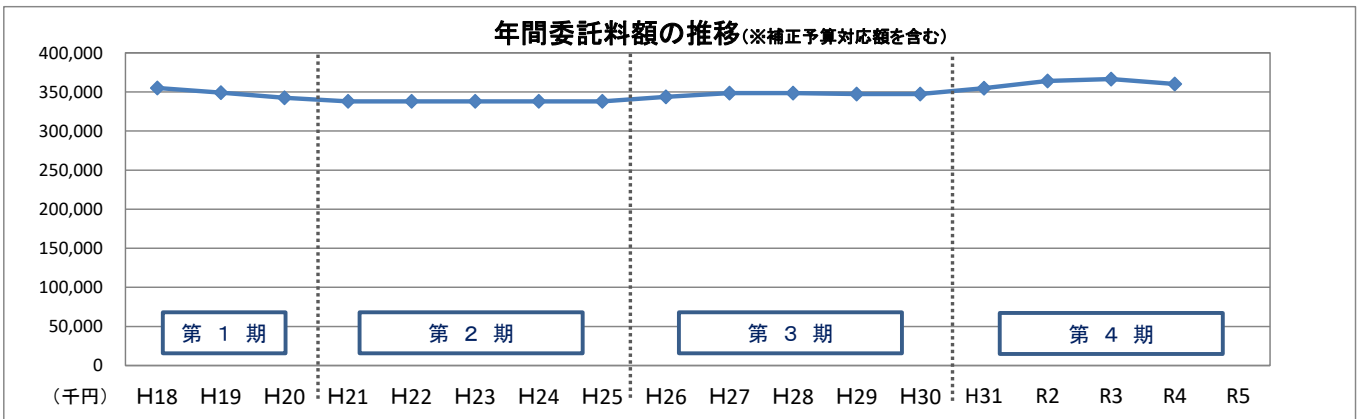
(※) 令和4年度については、上段に年間見込数を、下段()内には令和4年10月末までの実績数を記載。

(2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収(入)	395,037 千円	396,752 千円	385,569 千円	390,476 千円	401,706 千円
委託料	347,238 千円	354,796 千円	353,676 千円	353,572 千円	354,232 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	— 千円	10,443 千円	12,909 千円	5,980 千円
利用料金収入	47,211 千円	41,771 千円	21,380 千円	23,317 千円	40,765 千円
その他の収入	588 千円	185 千円	70 千円	678 千円	729 千円
支(出)	395,037 千円	403,350 千円	385,569 千円	390,476 千円	403,796 千円
収(A) - 支(B)	0 千円	▲ 6,598 千円	0 千円	0 千円	▲ 2,090 千円

(※1) 令和4年度については見込み額を記載。

(※2) 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載



(3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 季節変動に応じた的確な人員の確保による運営の効率化
- 社員に対し意識改革へ向けた収支状況の周知
- 一括購入等による諸経費の削減
- 社員による屋内施設や公園等の屋外施設の清掃の実施
- デマンドの導入による電力使用状況の可視化及び節減への意識改革

(4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 南楽園を中心とした自主イベントの内容の充実(南楽園梅まつり等期間内に小イベントの実施、ライトアップイベントの実施等)
- 南楽園における車椅子、シルバーカー、傘、ベビーカー、杖の無料貸出し
- 南楽園共通券の販売(天赦園、いちご狩り等)
- 年末年始の休園日の短縮、GW等での開園時間延長、プール無料開園日の設定
- 外国人利用者への受入体制の充実(無料ガイドの実施、多言語看板や翻訳機の設置、旅行者への日本行事体験)
- 公式HPや各種SNSを活用したタイムリーな情報発信、写真コンテスト等のイベント開催
- 南レクフェスにて行ったイベントのノウハウを活用した自主事業の実施

(5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取り組み

- 園内各所へのアルコール消毒液や体温計の設置、三密回避のための間隔を空けた座席配置や一部施設の入場制限、園内の不特定多数が接触する場所の重点的な清掃により、利用者が安心して利用できる公園整備に努めた。
- 南楽園梅まつりにて実施していた梅の種飛ばしや餅まきを中止した一方で、福もちの配布など利用者の満足度を高めるための代替イベントを実施した。

3 次期更新に向けての評価等

(1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

<p>利用拡大の観点から (利用者数、利用料金収入)</p>	<p>指定管理者制度導入前の平成17年度と比較して、御荘湾ロープウェイやボートの廃止、宇和海展望タワーの運行休止に加えて園の一部を地元市町に譲渡していることなどの利用者減少要因が見られるが、高齢者施設へのイベントの案内状送付や自主イベントの積極的な実施により県内外利用者の確保に努めている。 今期は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことで利用者が大幅に減少したが、ゴーカートのタイムトライアルレースやキャンプイベントの拡充によりウィズコロナにおける利用拡大のための取り組みを実施している。</p>
<p>効率化の観点から (経費削減)</p>	<p>施設の老朽化に伴う修繕費が増加しているほか、新型コロナウイルス感染症の影響によって利用料金収入が大きく減少したことで委託料の増額を行ったが、季節に応じた適切な人員確保や、物品の一括購入、競争入札の導入等による諸経費の削減を実施することで、経費削減に努めている。</p>
<p>利便性・県民サービス向上の観点から</p>	<p>他の施設との共通券の販売や、無料ガイドの実施、車椅子等の無料貸し出しを行うなど、利用者の利便性を向上するための取り組みを行っており、常にサービスの向上を心がけている。 また、多言語看板や翻訳機を設置したり、外国人向けの日本文化体験イベントや日本食メニューの提供を行うなど、インバウンド客の誘致につながるような利便性の向上にも努めている。</p>
<p>その他の観点から (前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況(広告事業等)、その他協定の履行状況など)</p>	<p>instagramやLINEといった各種SNSによるタイムリーな情報発信やハッシュタグを活用したSNS上のイベントに新たに取り組んでいる。 また、チラシやポスターを作成して県内外各所に配布するほか、新聞紙面でのイベント広報やテレビCMなどの多様な手法での情報発信を行うなど、南レクの認知度向上やイメージアップを図っている。</p>

(2) 次期更新に向けての方針及びその説明

南レク公園は200ヘクタールを超える広大な敷地を有するとともに、公園施設が宇和島市から愛南町にかけて点在しているため、民間のノウハウを活用した効率的な管理運営、さらにアフターコロナを見据えた利用促進のための斬新なアイデアと積極的な営業活動が求められることから、今後も指定管理者制度を継続したい。